

ArtBrain Image Viewer 解説

ArtBrain Image Viewer は各種画像ファイルのビューアとしての機能と何よりも画像解像度の自動リサイズに秀でた ArtBrain オリジナルのソフトです。



推奨システム

Pentium2 300M 以上

Memory 128M 以上

Windows98SE 以上 2000 での動作確認を行っています。

保証について

当社は、本ソフトウェアに関して、法定上の瑕疵担保責任、商品性および特定の目的への適合性の保証、その他一切の保証をいたしません。

免責事項

本ソフトウェアの使用によってお客様または第三者に発生したいかなる直接的、間接的な損害に 対しても、当社および DLL の作者・著作権者は一切責任を負わないものとします。当社および DLL の作者・著作権者が、たとえこのような可能性について事前に知り得た場合でも同様です

< 起動画面 >

本ソフトウェアを起動するとパスワード入力画面が現れます



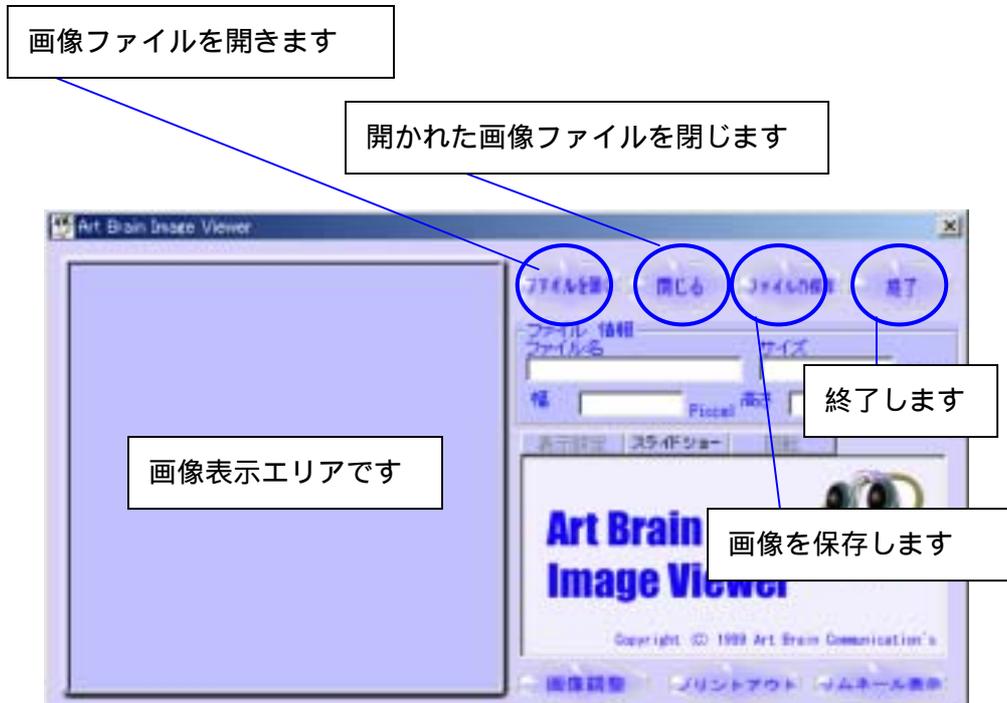
ユーザー登録された方にお送りしたパスワードを入力して下さい。



未登録の方は一括リサイズが使用できないなど一部機能制限付で使用していただく事になります。

尚一度パスワードを入力していただくと次回からは入力して戴く必要は有りません。

メイン画面



メイン画面のインターフェイスです。

< ファイルを開く >

ファイルを選択して画像を表示します。

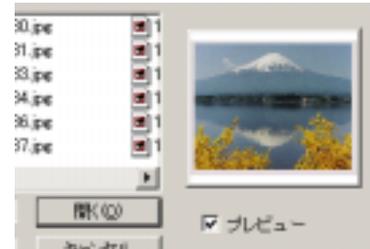
表示できる画像 Type は

BMP . TIF(無圧縮) . JPG . PNG です



ダイアログで
ファイル
を選びます

プレビューにチェックすると選んだ画像の
サムネイルを表示します



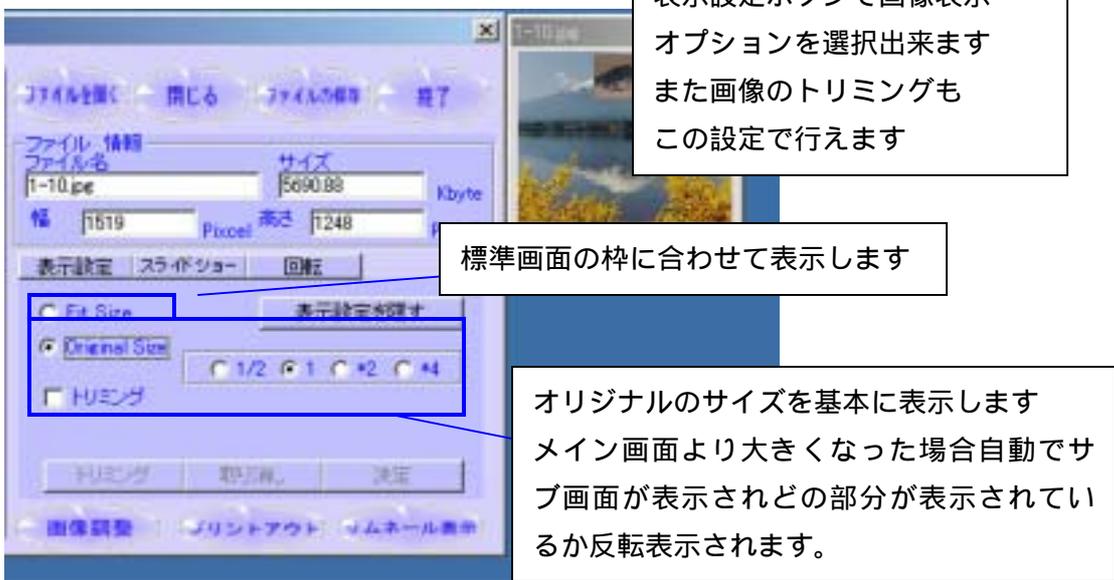
開くボタンで画像をメイン画面に表示します。

< 画像表示 >



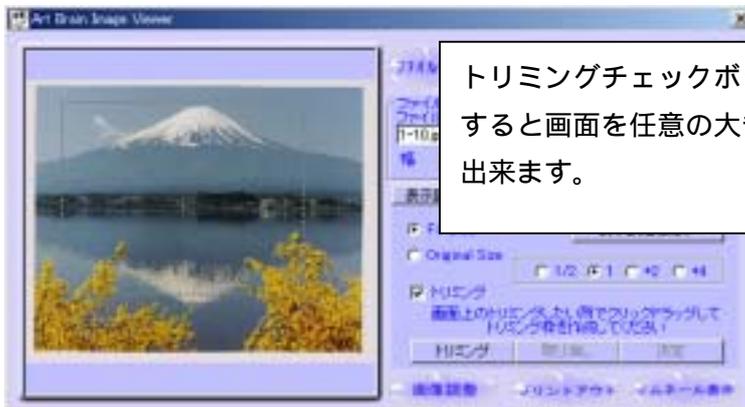


< 表示設定 >



反転してる部分が表示されています。反転部分をドラッグしても
表示部分をドラッグしても表示部の移動がおこなえます。

<表示設定> - (トリミング)



トリミングチェックボックスをクリックすると画面を任意の大きさにトリミング出来ます。

トリミング枠作成後に枠のサイズを変更できます。
“決定ボタン”でトリミング実行し“取り消しボタン”でトリミング前の画像に戻る事が出来ます。

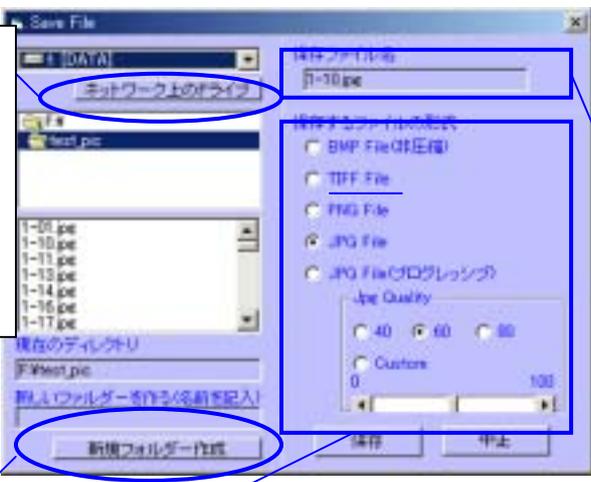


トリミングしたファイルは保存するまで実ファイルとして残りません

“表示設定を隠す”ボタンで標準画面に戻ります。

<ファイルの保存>

“ファイルの保存”ボタンをクリックすると保存ダイアログが現れます。



お使いの PC がネットワークに接続してある場合他のネットワーク上の PC に保存できます

保存ファイル形式の選択と JPEG ファイル形式で保存する場合の設定です

保存するファイル名を入力します最初は開いた時のファイル名です

新規フォルダを作ってそれに保存する場合はフォルダ名を入力してから“新規フォルダ作成”ボタンをクリックして下さい

<ファイルの保存> -(JPG オプション)

保存形式を JPG ファイルまたはプログレッシブ JPG にした時に限り保存品質オプションが設定できます、



数字が大きい程保存品質は向上しますが圧縮率は下がります。(保存されたファイル容量が大きい)
カスタムで任意の設定が可能です。

各種設定が終われば“保存”ボタンでファイルの保存が出来ます。

< 回転 >

“回転”ボタンで表示している画像の回転が出来ます。



角度入力チェックボックスチェックすると任意の角度で画像を回転できます。数値を入力して決定ボタンをクリックして下さい。

各種回転オプションボタンをクリックすると表示形式の画像回転を行います

“キャンセル”ボタンで標準画面に戻ります。

< 入力 >

< 画像調整 >



“画像調整”ボタンを押すと画像のリサイズや明るさなどの調整が出来ます

< 画像調整 > - (リサイズ)

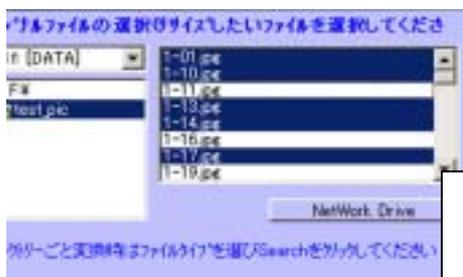


リサイズはピクセルで設定します
縦横比固定はオリジナルの画像比率を保ってリサイズします
“長辺を”は画像の長辺を入力した値にリサイズし短辺は画像比率に合わせて自動調整します。“短辺を”はその逆です
“無視”は任意の数値にリサイズします
縦横両方に数値を入力して下さい

サイズからオプションにチェックを入れると各辺の長さではなくリサイズ後のファイルの容量を指定してリサイズできます。
縦横比はオリジナルの比率を保ちます

任意の画像ファイルを自動処理でリサイズします。

“自動リサイズ”ボタンをクリックすると設定ダイアログが表示されます。



リサイズする元画像を選択します。
Ctrlクリックすると任意の複数の画像を選べます。



特定のフォルダ内に有る全てのファイル
をリサイズする場合はオリジナルのファイル
形式を指定して“Search Now”ボタンで
フォルダ内のファイルを全て検索します。
この場合サブフォルダ内も全て検索します

リサイズの設定です。
*”枠内サイズに収める”はターゲットが
正方形以外の時に再度長さを調整します
解像度にチェックを入れると任意の解像
度に全てのファイルをそろえます。



フォルダ内に違う形式のファイルが有る時は“*.*”で全てのファイルを取り出せますが画像ファイルではない場合や読み取れる形式で無い場合にリサイズ中にエラーが発生する恐れがあります。必ず読み取り可能なファイルのみをフォルダに入れておいて下さい。

また“OK”ボタンの横に有る“ No Resize”ボタンはリサイズを行わずに保存形式と解像度だけを揃える時に使用します。この場合はサイズやピクセル数を入力する必要は有りません。

“OK”ボタンで保存先を設定します。

ここにチェックを入れると誤って同名のファイル名で保存しそうな場合ファイル名の後ろに“_1”を付けて別ファイル扱いにします。同名が数個になってくると“***_01_01_01.jpg”とファイル名が長くなってしまいます。

ファイルの保存を参照してください

保存先に同名ファイルがあればファイル名を変更する

前のリサイズ設定によって押せるボタンが自動で決まります

リサイズの時間はファイル数やファイルの大きさ、PC の能力によって変わります
プログレスバーの表示がなくなり標準画面に戻るまでお待ち下さい。

“Cancel”ボタンでリサイズを取りやめます。

いったん自動リサイズが始まればキャンセルは効きませんので

Ctrl - Alt - Deleteキーで本アプリケーションを終了させて下さい。

その場合メモリが消費されてしまってる可能性が有りますので Windows の再起動をお勧めします。(Windows2000 は必要有りません)

< 画像調整 > - (明るさコントラスト)

画像の明るさやコントラストを調整します。

この場合予め標準画面に画像が読み込まれている必要があります。



下のスライダーで調整してプレビューで確認して下さい良ければ決定で終了します。

< 画像調整 > - (彩度調整)

画像の彩度を調整します。

この場合予め標準画面に画像が読み込まれている必要があります。



下のスライダーで調整してプレビューで確認して下さい良ければ決定で終了します。

<プリント>

A4プリンタ用に簡易プリントが出来ます。

標準画面から“プリントアウト”ボタンで表示している画像のプリンタ出力が出来ます



表示されている項目が同時にプリントされます。コメントを入れる場合は“Memo”欄にお好きなコメントを入力して下さい。

画像は 360DPI の A4 で設定されています。

それを超える大きさの画像は自動的にリサイズされます。

<サムネイル表示>

フォルダ内にあるファイルをサムネイル表示します。

画像枚数が多い時予め表示しておく事で作業の効率化が増します。

標準画面の“サムネイルの表示”ボタンをクリックして下さい



画像の入っているフォルダを選択して“サムネイルを作る”ボタンをクリックして下さい。



サムネールの読み込みにはオリジナルの画像の大きさによって時間が掛かる場合があります。途中で止める場合には“読み込み中止”ボタンで読み込みを止めて下さい。それまでに読み込まれたデータは残ります。

“サムネール非表示”で標準画面に戻ります。

< サムネール表示 > - (サムネールのプリント)

読み込んだサムネールを 6*6 表示でプリントします。

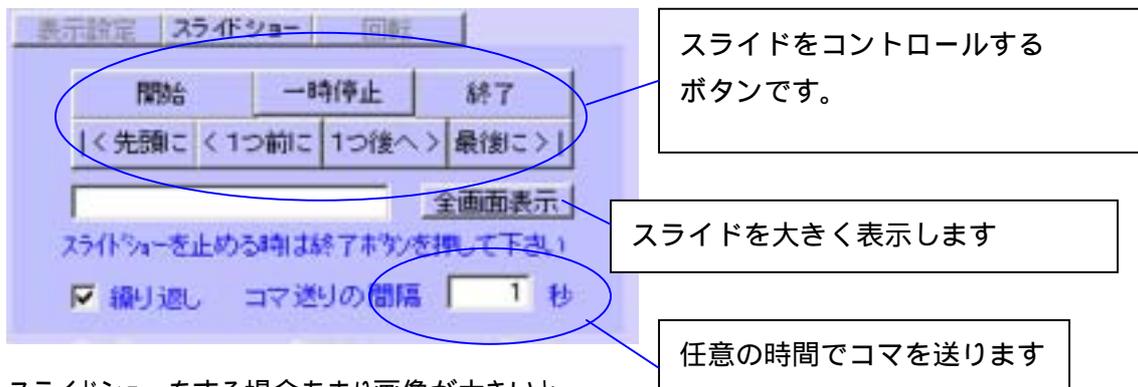
プリンタの電源を入れて指示にしたがってプリントして下さい。

< スライドショー >

フォルダ内の画像ファイルをスライドショーとして自動で表示する事が出来ます。

“スライドショー”ボタンをクリックして画像の入っているフォルダを選択します。





スライドショーをする場合あまり画像が大きいと読み込みの時間が掛かりすぎてスムーズな表示が出来ません。
標準画面でのスライドショー



全画面でのスライドショー(モニタは黒バックに変わります)



Start

スライドショー開始

Stop

一時停止

END

標準画面に戻ります